

	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		事業所で保護者会はないため、今後、必要性などを含めて検討していきます。 保護者、きょうだい同士の交流については、行事等の開催のなかで交流するできる機会を設定することを検討します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情があった場合にはすみやかに苦情処理を行っています。また、第3者委員会への報告を行い、助言をもらい改善を図っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。			毎月、写真入りの広報誌を発行し日々の活動の様子をお知らせしています。LINEやメールを活用し連絡などをすみやかに行えるようにしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の規定を厳守し十分に注意して管理しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子さんの特性に応じて必要な意思疎通のツールを活用し支援を行っています。 (カード、写真、iPad等)	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域住民が参加できる行事の開催はなかったため、今後、地域住民も参加できる行事を開催できるよう改善を図ります。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		避難訓練は毎月火災、地震、水害を交互に実施しています。	保護者の方への緊急時・災害時のマニュアルの周知・説明が不十分だったため、今後は面談などでの説明及びホームページなどを活用して周知できるよう改善を図ります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○		BCPの策定は行っていますが、訓練の実施はできていないため、今後実施できるよう改善を図ります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		緊急連絡表を作成し、持病・かかりつけ医・服薬状況・アレルギー等を記入していただいています。個別のてんかん発作時の緊急マニュアルについても学校共通のものを準備しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		緊急連絡表に記入していただいています。現在、医師の指示書に基づく対応が必要な方の在籍はありません。	
非常時等の対応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		安全管理の訓練・研修の実施ができていないため、今後、実施できるよう改善を図ります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		保護者の方への周知・説明が不十分なため、今後は面談などでの説明及びホームページなどを活用して周知できるよう改善を図ります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事故報告やヒヤリハット事案は事業所内で報告書を作成し全職員で回覧し会議にて再発防止にむけて確認を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		事業所外の研修への参加や事業所内での研修の開催、事例検討などを通して防止に向けて取り組みを行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		事業所内で身体拘束に関する研修を実施しています。また、やむを得ず身体拘束が必要な場合があるお子さんについては身体拘束について、保護者の方へ説明及び同意を得て、計画書へ記載しています。身体拘束が行われた場合は定期的に検証を行い改善に向け取り組みを行っています。法人内の身体拘束適正化委員会への報告を行っています。	